

Let's Access!!

のぞいてみよう! 男女平等EXPO高岡

【お問い合わせ先】
高岡市男女平等推進センター
TEL:0766-20-1810 FAX:0766-20-1815
gpc@office.city.takooka.toyama.jp

男女平等EXPOとは イベント案内 応募について 応募フォーム 意見一覧 リンク集 個人情報について

過去や他人は変わらないが 未来と自分は変えられる!

2007年度テーマ
『わたしが変われば。。。』
募集期間:8月7日～10月10日

わたしが変わる あなたが変わる まわりが変わる

あなたの小さな気づき大募集!

わたしが変わる(行動を起こす)ことで...

家庭 会社から早く帰ることで、家族そろってご飯を食べるようになったよ

職場 職場内で仕事を協力し合うことで、子どもを早く迎えに行けるようになったわ

地域 みんなで協力して花壇を作ったら、まちがきれいになったよ

このようなエピソードを大募集します!
過去の男女平等EXPOの優秀案はこちらをご覧ください

わたしの意見エピソードを応募する
みなさんの意見、エピソードを募集します。ご意見のご応募は8月7日(火)から10月10日(水)までです。たくさんのご応募お待ちしております。

みんなの意見エピソードを読む
みんなの意見、エピソードの一覧です。この中から優秀案を選び表彰いたします。みんなの小さな気づきの中からきっとわたしたちの行動へのヒントがあります!ぜひご覧ください。

男女平等EXPO高岡では、あなたの「気づき」を募集しています。

2007年度のテーマは、「わたしが変われば…」です。家庭において、職場において、地域において、自分が変わることによって周りが変わった、とか周囲に対する自分の見方が変わった、などということはありませんか? エピソードやご意見を大募集しています。ほんの些細なことでもいいのです。ホームページから書き込んでみてください。

行き方は、高岡市男女平等推進センターのページから飛ぶか、
アドレス <http://www.danjiyo-byoudou.jp/index.html>
または、yahooなどの検索エンジンで「男女平等EXPO」と検索してもたどり着けます。

◇表彰式

日時:平成19年11月2日(金)
午後6時30分～8時30分(開場午後6時)
会場:ウイング・ウイング高岡4階 生涯学習センターホール
内容:ノミネート作品の中から部門別最優秀賞、大賞を発表する。

◇式典イベント

講演:高岡市長が語る「明日の高岡」
応募意見の提案趣旨や優秀意見をもとに意見交換を行います。



男性保育士に直撃インタビュー!

プロフィール

高橋裕憲(僧侶で保育士)35才

保育士になろうとした理由は

何か、やりがいを感じられる仕事にチャレンジしてみたかったからです。

実際に、保育士として働いてみての感想は(女性ばかりの職場はどうですか)

あまり異性を気にする事なく、働けていると思います。時々男性の保育士が増えるといいなあと思います。子どもの半分は男性だから、時には男性の感性も上手い具合に働く時があると思うからです。

保育士資格には性別による制限はなく、男性の職業として注目を集めていてさらなる増加が期待されています。県内に従事する男性保育士の方を紹介したいと思います。

これから保育士を目指す人達へのアドバイス

保育士は、これから未来の社会をになう子どもに影響を与えていく、社会的に責任のある仕事、立派な人間になろうと努力する事です。これは、まだ一人前の保育士になっていない私自身へのアドバイスです。これがそのまま保育士を目指す人達へのアドバイスになればいいと思います。

同僚(女性保育士)から

女性だから男性だからと、意識せずに仕事ができるのが高橋先生の魅力です。一人ひとりの子どもを冷静な目で見てくれて優しく受け入れてもらっています。高橋先生には僧侶として、保育士としてずっと子どもたちを支えてあげてほしいと思っています。

川原晶美(西条校下推進員)

編集後記

(財)富山県女性財団が企画・編集し富山県が発行した「とやまの男女共同参画データブック2007」を紹介します。少子化と男女の働き方の関係さらにDV(ドメスティック・バイオレンス)等、富山の男女共同参画の課題と将来の方向を考える内容となっています。興味のある方は県内の図書館でご覧になってください。

訂正とお詫び

第2号(2007年3月発行)に掲載の市民企画講座アドバイザー「斉藤正英さん」のお名前は「斉藤正美さん」の誤りでした。訂正してお詫びいたします。



平等・開発・平和

ともだち共立

第3号 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会



最近気づいたこと

富山県男女共同参画推進員高岡連絡会
品川洋介(木津校下推進員)

介護を学んでいる男子学生が「せっかく実習に行ったのに、排泄介助させてくれなかった!」とふくれっ面で話してきました。同性介護・異性介護に関係無く、男性は排泄には関らないと決めている「介護サービス提供所」がありました。排泄介護を行うことをまだ蔑んだ見方があるようです。ここには、「介護」と「ジェンダー」の2つの問題が含まれています。また、「介護は嫁がするもの」と、同性同士での考えもまだ残っていました。このように色々な場面で、まだまだ男女に関する不利益な考えが残っています。介護を学ぶ学生とよく、「一人一人の違いを

認める事が大事だよね。そして、その人らしさを大切にしたいよね。」等と話し合います。

男女共同参画とは、決して「〇〇らしさ」を否定するものではないと考えます。一人一人が持つ人権を、互いに尊重しながら共に豊かな社会を目指すものと思います。そして固定されてしまっている価値観・考えをなんとかして溶かしていきたいと思っています。

男性・女性関係無く様々な活動に取り組んでいる学生をみると、実は一番頭が固いのは自分なのかなと反省します(頑固親父になろうとしています)。強いてはいけませんよね。

*ジェンダー 私たちは、「女の役割、男の役割」を社会制度や慣行により、幼い頃から学習することで「女らしさ、男らしさ」を身につけていきます。この文化的・社会的に作られた性差を「ジェンダー」といいます。

mini地区懇談会

2007年度は、市内全校下で男女平等・共同参画推進のための「ミニ地区懇談会」を開催します。
実り多い会になるように推進員全員張り切っています。
地域のみなさんご協力をお願いいたします

(詳細は後日チラシ等でご案内いたします。どなたでも、どの会場でも参加できます。)

校下名	開催予定日	五位山	赤丸	西五位	大滝	山王	福岡	中田	戸出西部	戸出東部	石堤	千鳥丘	東五位	牧野	西広谷	国吉	太田	古府	伏木	野村	二塚	下関	万葉	能町	成美	木津	南条	博栄	西条	川原	横田	平米	定塚
		08年2月	08年2月	08年2月	08年2月	08年2月	08年2月	07年11月	07年8月24日済	07年12月	07年10月or11月	08年2月	08年2月	08年2月	07年11月11日	07年11月	08年1月	07年11月13日	08年2月	07年10月頃	07年10月31日	07年7月8日済	07年11月24日	07年9月22日	07年12月1日	07年6月17日済	08年2月	07年9月20日	08年2月	07年7月26日済	07年10月	07年7月19日済	07年6月15日済

mini地区懇談会 ★各校下で開催中

6/15 定塚校下

「女でラッキー・男でラッキー」をテーマにワークショップを行いました。普段なかなか話すことのない世代同士が忌憚なく活発に楽しく意見交換ができ、盛況のうちに終わりました。



7/19 平米校下

「女でラッキー・男でラッキー」のワークショップを行いました。最後の発表も皆さん積極的で大変、盛り上がりしました。



6/17 木津校下

ビデオ「家庭の中の男女平等」を観てからグループ討議を行いました。時代時代で男女平等は浸透してきているように思われる等、多数の意見が出ました。



7/26 川原校下

知らず知らずのうちに、「男は仕事、女は家庭」という思い込みが、自分の中になかったらどうか？という事に気づいてもらえたら・・・というワークショップです。この懇談会を通して、男女共同参画を身近なものとして捉えることができたのではないかと思います。



7/8 下関校下

DVの紙芝居を見た後、グループに分かれて参加者が活発に意見を交換し、その後、金森弘子さん（高岡人権擁護委員参与）の貴重なお話を頂戴しました。参加者から「日頃あまり考えることのないDVについて話し合ううちに、なぜ、男女共同参画社会が必要かわかったわ。」といううれしい意見を頂きました。



8/24 戸出西部・戸出東部校下

高岡高校演劇部によるビデオ「それぞれの旅立ち」を観た後、グループに分かれビデオの感想を含めたワークショップを行いました。家事や育児など男女がお互いを尊重し、共同で行うことが大事なのでは？という身近な問題を活発に話し合いました。



（多数の参加とご協力ありがとうございました。）

「ノルウェー」ヴォルダ大学生との交流に学ぶ ～あなたの国どんな国ですか～

ノルウェー、ヴォルダ大学で「現代日本入門」コースを学ぶ学生10名が、日本研修旅行で来日し、福岡町では7月26日から4泊5日のホームステイを受け入れました。女性の社会参加が進んでいる国ノルウェーの人たちとの交流は考え方、生き方の違いから大きな学びをいたしました。

副会長 梁瀬 温子（大滝校下）

ノルウェーの概要

出生率が1.29と落ち込む日本に比べ、ノルウェーは1.81（2004年）と先進国でもまれに見る高さと、子どもを安心して生み育てる環境が整うと同時に、女性が働き続けることができる社会が実現しています。



交流会にて

○日本に来て感じたことは？

- ・忙しそうにしている。生産性が高そう。女性の役割、伝統的な役割（田舎）が多いと思った。
- ・一つ屋根の下に異世代が同居していて、若い人が高齢者の面倒を見ていることは大変良いと思う。

○両親は働いていましたか？

- ・全員が共働き家庭であり、2世帯同居という形態は無い。

○日本の「男の子は男らしく、女の子は女らしく」ということについてどう思いますか？

- ・男女とも大事なものは人間そのものであり性差は無い。
- ・経済的に自立すべきだという考えが男女とも強い。18歳になったら家を出て、親の援助なしで生活をする。学費、生活費などは国や市の奨学資金を借りて、後で働いて返す（学費はほとんどかからないが、アパートなどの生活費が高い）。

○「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方はどう思いますか？

- ・いずれも大切なことであり、誰がどれを担当すべきか決めるべきではない。
- ・ノルウェーでは女性もキャリア志向。

サンフォルテフェスティバル2007開催（6月23日）

○基調講演

「“自分らしさ”ってなんだろう？ー共に生きる社会をめざしてー」

講師 香山 リカさん（精神科医・帝塚山学院大学教授）



頑張り屋の女性がストレスを感じてしまう背景としては、男性中心の社会で女性を取り巻く環境が整っていないことと、女性自身の考え方の2点があること。そして女性自身も自分に厳しくするばかりでなく、今ある自分を大切に生きていってほしいとの温かく力強いメッセージをいただきました。

女と男のパートナー会議（8月25日・小杉文化ホール）

小杉文化ホールにおいて、射水・高岡・氷見地区の推進員が中心となり、上記会議が開催されました。

◆射水市連絡会による朗読劇

「感じて・気づいて・地域がかわる」を観賞し、女性の地域進出をめぐり、地域、家庭、婦人会などいろんな立場の人たちの意見をコミカルに聞かせてくれました。

◆講演

富山国際大学講師の彼谷 環さんに「個性・共生・よい人生ー男女共同参画を考えるー」と題して、主に憲法学者の立場からお話をしていただきました。



「男女に関わりなく、平等に人権を行使し平等に幸福を享受することができる社会を目指すのが男女共同参画の考え方であり、まさにこれは、日本国憲法に保証されているすべての国民の権利である。」ということ。そして、「男と女だけでなく様々な立場の人が個性を輝かせることができるよう皆で努力しましょう。」と結ばれました。

喜多 正浩（戸出東部校下）

